

令和 3 年度「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰) 決定

～ 北海道内から大賞部門 1 件、一般部門 1 件 受賞 ～

国土交通省では、地域の魅力や個性を創出している社会資本とそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を「手づくり郷土賞」(別紙「参考資料」参照)として表彰しています。

このたび、有識者による手づくり郷土賞選定委員会が開催され、全国各地から応募のあった 30 件(大賞部門 3 件、一般部門 27 件)の中から、優れた取組として 13 件(大賞部門 1 件、一般部門 12 件)が選定され、北海道内からは大賞部門で 1 件、一般部門で 1 件が選定されました。(全国の選定結果は「資料 1」参照)

※大賞部門：過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

※一般部門：はじめて受賞する団体を対象とした部門

今後、認定証授与式を予定しています。詳細が決まり次第、別途お知らせします。

【大賞部門受賞】

○案件名：手づくり魚道の完成が出发点！

～SDGs 時代の川との付き合い方～

団体名：駒生川に魚道をつくる会【美幌町】

【一般部門受賞】

○案件名：”資源蘇生”未利用資源を活かした地域づくり

～海藻アートの独自文化と子どもたちへの継承～

団体名：NPO 法人利尻ふる里・島づくりセンター【利尻町】

※活動の詳細は「資料 2」参照。

また、12 月 18 日(土)に東京都において、「手づくり郷土賞受賞記念発表会 2020-2021」が開催されます。全国の選定団体が活動プレゼンテーションを行い、ベストプレゼン賞が決定します。(「資料 3」参照)。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311

開発監理部 開発調整課 課長補佐 林 秀樹(内線 5475)

開発監理部 開発調整課 上席開発計画専門官 風間隆之(内線 5470)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和3年度 手づくり郷土賞 選定結果

<大賞部門：1件>

No	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
				地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	美幌町	手づくり魚道の完成が出発点！ ～SDGs時代の川との付き合い方～	駒生川に魚道をつくる会	—

<一般部門：12件>

No	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
				地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	利尻町	”資源蘇生”未利用資源を活かした地域づくり ～海藻アートの独自文化と子どもたちへの継承～	NPO法人利尻ふる里・島づくりセンター	—
2	長野県	安曇野市	絶滅危惧種の地域への拡大を目指して ～オオルリシジミを市民の手で郷土に復活～	岩原の自然と文化を守り育てる会	—
3	静岡県	川根本町	接岨湖(長島ダム湖)で町を元気に!	一般社団法人 エコティかわね	—
4	長野県	飯田市	天竜川総合学習館発「川に親しむ河童人づくり」 ～水辺空間を多様な体験学習に活用～	天竜川総合学習館 かわらんべ	中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
5	京都府	亀岡市	京都・亀岡 ～保津川のプラごみをなくそう～	川と海つながり共創プロジェクト	—
6	京都府	向日市	「竹の径」に倣え「藪の径」景観づくり ～市民による手づくり郷土ランドスケープ～	藪の傍	—
7	兵庫県	姫路市	姫路城中曲輪バタフライガーデン創造事業 ～SDGsの理念の実現と学校を核とした郷土づくり～	白鷺学校運営協議会	—
8	島根県	邑南町	三江線鉄道公園 ～鉄道遺産を活かした「まちづくり」・「インフラツーリズム」の取組～	特定非営利活動法人 江の川鐵道	邑南町
9	佐賀県	伊万里市	水辺施設「ウォーターフロントこまなき」 ～自然との共生と利活用～	駒鳴集落を守る会	—
10	佐賀県	鹿島市	森里川海干潟をつなぐまちづくり ～有明海再生に向けて～	鹿島市ラムサール条約推進協議会	鹿島市
11	長崎県	雲仙市	ジャカランダで子供達が誇れるふるさとづくり	小浜温泉57	—
12	熊本県	南阿蘇村	南阿蘇・立野ダムインフラツーリズムの実践 ～地元密着・自立運営型での商品開発と運営～	一般社団法人みなみあそ観光局	—

令和3年度 手づくり郷土賞選定案件概要(北海道内)

【大賞部門】手づくり魚道の完成が出発点！（北海道・美幌町） ～SDGs時代の川との付き合い方～



ポータブル魚道の設置



マイクロプラスチック調査

<活動内容>

落差工の設置により、駒生川上流に魚がいなくなったことを受け「上流に魚を呼び戻そう」との思いを共にするメンバーを中心に活動が始動。魚道づくりに、地域住民等、延べ230名を超える方が参加。近年は、河川水中のマイクロプラスチックについて、地元の高校と連携して、川の汚染状況等について調査を開始、今後プラスチックの使用量削減を目指す。また、手軽さを兼ね備えたポータブル魚道の開発・設置を新たに実施。地元に限らず、他地域への普及を進める。豊かな環境や資源を将来に残すべく、さらなるSDGs(持続可能な開発目標)に係る活動の発展に取り組んでいる。

<地域活動団体>

駒生川に魚道をつくる会

【一般部門】”資源蘇生”未利用資源を活かした地域づくり（北海道・利尻町） ～海藻アートの独自文化と子どもたちへの継承～



海藻押し葉体験工房

島の駅と雪まるだ灯り
フェスティバル

<活動内容>

「資源蘇生」をコンセプトに海の厄介者である雑海藻をアートの素材として活用することで独自文化を確立し、子どもたちに豊かな自然環境を継承する地域づくり活動をスタート。小中高生を対象とした海藻押し葉の体験教室、親子体験会等の取組を通じて次世代を担う子どもたちなどの郷土愛を育んでいる。商店街に位置する歴史的建築物を拠点「利尻 島の駅」として再生したことで観光客等の往来が活発化、コロナ前の2019年には利用者が7千人を上回る。また、島の駅前の町道を活用した「雪まるだ灯りフェスティバル」等各種イベントを開催するなど、地域活性化を図っている。

<地域活動団体>

NPO法人利尻ふる里・島づくりセンター

国土交通省大臣表彰

ふるさと
手づくり郷土賞

全国の地域づくりに
関心のある方へのメッセージ



手づくり

入場
無料

令和3年12月18日(土)
12時30分～16時30分(予定)
東京国際交流館プラザ平成
国際交流会議場
東京都江東区青海2-2-1

受賞記念発表会

ふるさと
郷土賞

2020-2021



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure and Transport

◆「手づくり郷土賞」とは

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれらと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設され、令和3年度で36回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

◆手づくり郷土賞受賞記念発表会について

第35回・第36回手づくり郷土賞を受賞した、優れた地域づくりに取り組む団体が全国から結集し、プレゼンテーションを行い、委員・来場者の投票によりベストプレゼン賞を決定します。

なお、受賞団体の活動内容や発表会の様子はFacebookやホームページでも情報発信します。

開催日時 令和3年12月18日(土) 12:30～16:30(予定)

スケジュール ●開会

●第35回(令和2年度)受賞団体によるプレゼンテーション

●第36回(令和3年度)受賞団体によるプレゼンテーション

●ベストプレゼン賞の発表

●閉会

※令和2年度(第35回)及び令和3年度(第36回)の受賞記念発表会を同時開催します。

※終了時間はプレゼンテーション参加団体数に応じて、変更になる場合がございます。

※プレゼンテーションは、当日会場で発表を行う「発表部門」と事前に撮影した動画による「動画部門」の2部門に分けて実施予定です。



お申込み方法

会場観覧またはオンライン視聴によりご参加いただけます。

・会場観覧をご希望の方は、下記サイトより事前にお申込みください。

・オンライン視聴をご希望の方は、下記サイトから視聴いただけます。

申込みは不要ですが、CPD単位取得*をご希望の方は下記サイトより事前にお申込みください。

<https://tedukuri-furusato.jp>

※建設コンサルタンツ協会CPD・土木学会CPD・都市計画CPDの認定プログラム申請中

こちらからも
アクセスできます▶



お申込み締切

令和3年12月10日(金) 17時 会場観覧定員:200名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

開催会場

東京国際交流館プラザ平成 国際交流会議場

所在地:〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

アクセス:ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル」東口より 徒歩約3分

りんかい線「東京テレポート」B出口より 徒歩約15分

お問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課

メール:hqt-tedukuri-sogo@gxb.mlit.go.jp

FAX:03-5253-1551

※送信するメールの件名は、「手作り郷土賞受賞記念発表会2020-2021」の問い合わせとしてください。



手づくり郷土賞の情報はこちら

手づくり郷土賞ホームページ

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/>



手づくり郷土賞フェイスブック

<https://ja-jp.facebook.com/mlit.tedukuri/>



◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和3年度で36回目。

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和3年度）

委員長	秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究院 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	斉藤 俊幸	地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京工業大学 准教授
委員	野澤 康	工学院大学 副学長

(敬称略)